





### 3 甚目寺南大門

柿葺、三間一戸楼門、入母屋造で国指定重要文化財。建久7年(1196)梶原景時が奉行として再建したという。門内の木造仁王像は愛知県指定文化財で、戦国武将福島正則の寄進による。



### 4 甚目寺東門

銅版葺、四脚門、切妻造で国指定重要文化財。上街道(津島街道)に直面している。街道は清洲の須ヶ口で美濃路と分かれ甚目寺観音に至り、木田を通り津島へと向かう。



### 5 漆部神社

漆部(ぬりべ)神社は漆を扱う部族の神社と推定され、室町時代の再建といわれている。長い歴史の中で、八大明神と称された時もあったが、昭和中期に漆部神社となった。



### 6 小町塚

小野小町が東国へ下る途中、この新居屋で亡くなったという伝説がある。

### 7 晴明塚

昔、農夫が田の中に繁茂した雑草で困っていたところ、見かねた安倍晴明が祈禱を行い、晴明の徳を喜んだという伝説がある。



### 8 新屋神社

日本書記に、宣化天皇元年(536)に物部氏が新屋連(むらじ)を使い、新屋(新居屋)の屯倉(みやけ)の穀物を運んだとされる。



### 9 法性寺

法性寺(ほっしょうじ)の寺伝では、天智天皇勅願の道場であり、一山十二坊の大伽藍であったという。甚目寺とともに古刹の1つである。

### 11 萱津神社

農業の神である鹿屋野比売(かやのひめ)を祀ったのが萱津神社の始まりという。萱津神社あたりの森は「あわでの杜」と呼ばれています。「あわでの杜」は日本武尊と宮簀姫の悲恋の舞台となった伝説地。



### 12 香の物殿

本邦唯一の漬物の神が祀られており、毎年8月に香の物祭(市指定無形民俗文化財)が行われ、熱田神宮に奉納される。



### 10 飛行場開拓記念碑

太平洋戦争末期に作られた陸軍の飛行場跡。正式には清洲飛行場というが、甚目寺飛行場ともよばれていた。実際には半年ほどしか使用せず、幻の飛行場といわれている。記念碑は甚目寺公民館駐車場西北にある。ここから北一面に飛行場が広がっていた。



### 14 妙勝寺

創建は弘長元年(1261)といわれている。庫裏(くり)は文禄4年(1595)清須城主であった福島正則が城の長屋一棟を寄進したものと伝えられている。山門は鎌倉～室町時代のものという。



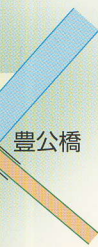
### 15 光明寺

創建は弘安5年(1282)といわれている。その後、72僧寮が建ち並び菅津道場として栄えた。鐘楼門が有名で、当初の門は享保8年(1723)に建立されている。



### 16 實成寺と山門

實成寺(じつじょうじ)の創建は元応元年(1319)といわれている。本堂は織田敏定(織田信長曾祖父)が改修し、山門は福島正則が寄進したと伝えられる。ともに国登録文化財。



豊公橋